

ふれあい情報

2025 年 8 月 25 日 (月) 第 401 号

■発行 日本退職者連合

■発行人 宇田川浩一

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11



日本退職者連合

HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

財務省

7/22

退連から、野田会長、宇田川事務局長、川端常任幹事は、財務省から、五十嵐課長補佐以下4名の方に対し、要請書を手交しました。

関係省庁への要請行動は野田会長より『7月16日の第29回定期総会において決定した「2025年度政策・制度要求」の内容について要請をさせていただくので、今後、検討して進めていただくようしくお願いしたい』と挨拶を行い、その後、要請書を手交し、事務局から内容について説明して意見交換を行いました。



野田会長(右)より、五十嵐主税局 税制第1課長補佐(左)に要請書を手交

応じていただきました。「2025年度政策・制度要求」のうち、①社会保障機能の強化と財源確保②予算編成の健全化③貧困・低所得者対策④税制関係を中心に要請を行いました。

その後、各担当の方から各項目についての考え方を説明していただき、その後、適正な予算編成の実施と防衛費予算の適正化、年金生活者支援給付金の増

25年度政策・制度要求を 関係省庁、政党に要請行動

退職者連合は、第29回定期総会で決定した「2025年度政策・制度要求」の実現に向けて、関係省庁、政党への要請行動を7月22日～8月5日に掛けて実施してきました。以下にその概要について報告します。

国 交 省

7/23

額、税制制度などについて意見交換を行いました。最後に要求内容について引き続き検討するよう要請して終了しました。

要請は、野田会長、宇田川事務局長、川端常任幹事、山岸都市交通連絡協議会会長、ほか事務局が出席しました。野田会長より要請書を手交し、住宅局および総合政策局より、考え方を受け意見交換を行いました。

住宅局

住宅局からは、田中安心居住推進課長をはじめ、課長補佐の方に対応していただきました。要請内容は、住宅困窮者の社会的解消や過剰な住宅建設を生じさせない政策などを中心に行いました。



野田会長より、田中住宅局安心居住推進課長に要請書を手交

総合政策局

総合政策局からは、大坪交通政策課長をはじめ課長補佐・専門官の方に対応していただきました。



野田会長より、大坪総合政策局交通政策課長に要請書を手交

要請内容は、地域公共交通の充実、道路交通環境の改善の政策などを中心に行いました。

回答内容のポイント

○まちづくりと公共交通を一体的に捉えて、官民共創等により地域一丸となった取り組みを進めている。

○バリアフリー整備は、ハード・ソフト面一体として取り組んでいる。

○道路施設や上下水道施設等については、国土増強強化実施企画で計画的に進めていく。

○路線バスや乗り合いタクシー、ライドシェア等地域の実情に合わせて支援する。

など、要請内容に対する対応等について説明を受けました。その後、意見交換を行い終了しました。

内閣府

7/23

退連から、野田会長、宇田川事務局長、畠山常任幹事、ほか事務局が出席し、内閣府からは、大森男女共同参画局総務課長、白石男女共同局総務課調整係長が対応してい



野田会長・畠山ジェンダー平等委員会事務局より、大森内閣府男女共同参画局総務課長に要請書を手交

いただきました。

主要要請は、「第6次男女共同参画基本計画」策定や女性の社会的尊厳の確立、「女性差別撤廃条約選択議定書」の早期批准などについて要請を行いました。

大森課長より、「第6次男女共同参画基本計画の策定にあたっては、今後、審議会・専門調査会・労働組合などから意見を聞きながら進めていき、パブコメを実施するのをご意見等いただきたい」など、今後の進め方等について説明を受け、意見交換を行い終了しました。

厚労省

7/28

退連から、野田会長、宇田川事務局長、ほか事務局が出席し、厚労省は青山大臣官房総括審議官他事務局が対応していただきました。

ライド調整の在り方、介護労働者の処遇改善、低所得高齢単身女性問題などについて説明をしました。

青山総括審議官から、

○現役世代と高齢世代のバランスを確保しつつ、現在の受給者の年金引き下げにならないように措置をしている。また、基礎年金の拠出期間の延長等の課題について認識している。

○訪問介護事業所の総数としては増加しているが、人材確保に課題があることは認識している。小規模事業所の経営安定化の措置を講じていく。

○第3号被保険者制度について、今回の改正では方向性がまとまらなかったが、引き続き検討していく。

などの状況説明を受けた後に意見交換を行い終了しました。



野田会長より、青山大臣官房総括審議官に要請書を手交

農水省

7/28



野田会長より、岡本大臣官房政策課調査官に要請書を手交

退連から、野田会長、宇田川事務局長、岡本幹事（農水退）ほか事務局が出席し、農水省からは岡本大臣官房政策課調査官および山本企画官に対応していただきました。

要請内容は、「食」の安心・安全・安定、持続可能な農業および輸出農畜水産物の安全基準などの充実を要請しました。

岡本調査官より、

○食の安全・安心・安定的な供給は、農林水産省としての最大のミッションと認識している。今後、食料農業の基本計画を作成していく。

○コストについては、生産者・技術関係者・消費者について国としての価格形成をしていく。

○事業系のフードロスが減ってきているので、引き続き

取り組んでいく。
○持続可能な生産現場に向けて、スマート技術や効率的稼働などを検討していく。
などの説明を受け、意見交換をして終了しました。

2025 全国高齢者集会 開催！ “生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう”

日時 2025 年 9 月 18 日(木) 12:30 ～ 場所:文京シビックホール

○オープニング 『創作和太鼓（暁鼓遊）』

○主催者あいさつ ○連合代表・来賓あいさつ

○基調報告

○講演 「世のため、人のためにどう貢献するか」

杉 良太郎 さん（警察庁特別防犯対策監、歌手・俳優）

○高校生平和大使のとりくみ

○集会アピール

○団結がんばろう

政党要請

冒頭、野田会長より第 29 回定期総会で確認した「2025 年度政策・制度要求」を手交し、要求内容の実現に向けて各党の協力を要請しました。その後、岩崎副事務局長より要求内容のポイントを説明して、意見交換を行いました。また、今後、各地方組織からの自治体および議員要請時における協力要請を行いました。

立憲民主党

7/30

辻元代表代行より、「退職者連合も女性の会長となり、連合会長も女性となり、時代を大きく反映していると思う。本日の要請内容は、今後の国会対応の中で生かしていきたいと思っている。

さらに、今後も時代に伴う新たな課題も多く出てくると思うが、退職者連合と連携させていたく。当面、年金・高額療養費制度・選択的夫婦別

姓制度などについて、衆・参とも野党過半数ということも踏まえて取り組みをさせていたく」と考え方が説明されました。



野田会長より、古川代表代行に要請書を手交

国民民主党

7/31



野田会長より大島企業・団体交流委員長に要請書を手交。辻元代表代行をはじめ多くの議員・秘書の皆さんが出席しました。

「今回の参議院選挙は若い人たちと高齢者の世代間格差が鮮明に浮き上がった選挙だったと危惧している。年金・医療・介護など社会保障分野において、野党が連携していかなければならないと思っている。手取りを増やす経済政策を実現することによって年金額も増やしていく、同時に物価高対策を進めていくことで、世代間対立を解消していきたいと思っている」と考え方が説明されました。

社会民主党

7/30



野田会長より、福島党首に要請書を手交。

ラサール石井議員・事務局の皆さん

福島党首およびラサール議員から、「退職者連合の要請内容と社民党の政策と共有する

ところが多くある。

とくに介護報酬の基本報酬引き下げによる小規模事業所の倒産や低所得高齢単身女性の問題などについては、国民的な議論を求めている。高齢者若し人々や中高生などのネットワークを作って、お互いにもっと幅広い議論を進めていくことも重要ではないかと思う」と考え方が説明されました。

公明党

8/1



野田会長より、里見党労働局長へ要請書を手交。宮崎議員、中川議員。

里見労働局長より、「要請内容は現役と高齢者の両方の立場での内容であり、私たちも若い現役世代と高齢者世代での分断を生まない政策・制度を求めている。とくに年金給付財源確保のための小規模事

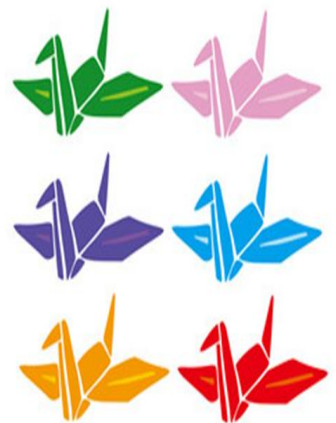
業者への配慮や社会保障全体の財源およびインフラ整備財源など税金とその他の財源との公平性のバランスも重要である。今後も多くの意見等をうかがいながら進めていきたい」との考え方を受け、引き続きの協力を要請して終了しました。

〈2025 年度政策・制度要求項目〉

1. 社会保障機能強化と財源確保
2. 予算編成の健全化・適正化
3. 雇用改善・子ども子育て支援
4. 年金保険制度の維持・改善
5. 地域包括ケアネットワークの確立
6. 医療制度の充実・安定
7. 介護保険制度の充実・安定
8. 貧困・低所得者対策
9. 温暖化防止・気候変動対策とエネルギー政策
10. 地域公共交通を軸とする移動保障の充実
11. 社会保障関連審議会等への参画推進
12. 社会保障としての住宅対策
13. 公平公正な税制制度
14. ジェンダー平等
15. 「食」の安心・安全・安定、持続可能な農業を支える地域農業の活性化
16. デジタル化政策
17. 不招請勧誘・販売に対する規制強化

2025 「平和行動in広島」

「平和行動in長崎」で 折鶴の献納



左の QR コードは、「核兵器廃絶
1000 万署名」連合特設サイトに
移行する QR コードです

日本退職者連合は、先日開
催した「2025 全国組織代表者
会議」および「第 29 回定期総
会」の参加者みなさんの平和
を希求する思いを一羽一羽
に込めて 2 束の千羽鶴を作
成しました。

完成した千羽鶴を連合が
開催した「平和行動in広島」
および「平和行動in長崎」の
会場に献納してきました。

作成に協力していただい
た会議参加者ならびに多く
の皆様は御礼と感謝を申し
上げます。

ありがとうございます。

目的

連合の 2025 「平和行動in広
島」及び「平和行動in長崎」
の取り組みに合わせて、戦没
者への慰霊と平和で安心で
きる暮らしを若者へつなげ



平和行動in広島

広島県退職者連合 田部事務局長



献納方法について

「平和行動in広島」および
「平和行動in長崎」の開催
日時に合わせて、広島県退職
者連合および長崎県退職者
連合の代表者から献納を行
う。



平和行動in長崎

連合長崎 縄本副事務局長



核兵器は
いらない。

核兵器廃絶
1000万署名

連合 原水禁 KAKKIN



左の QR コードは、「核兵器廃絶
1000 万署名」連合特設サイトに
移行する QR コードです

第 27 回参議院選挙について

参議院においても与党過半数
割れとなり、政権与党のまま衆
参両院での過半数割れは自民党
結党以来です。連合構成組織が
擁立した候補者全員の当選を果
たせなかったことは残念でした
が、退職者連合の役員・会員・
家族の皆様のご協力に心より感
謝申し上げます。

自民党内の権力闘争や野党側
の主義主張の隔たりなどで、不
安定な政治情勢ですが、世代間
の対立を超えて持続可能な社会
保障・財政・エネルギー政策・
外交政策等を進めるよう求めて
いきます。(第 27 回参議院選挙結果に
ついての談話より)

連合推薦候補者結果(比例代表)

UAゼンセン	田村麻実	現①当選
自動車総連	磯崎哲史	現②当選
自治労	岸真紀子	現①当選
電機連合	平戸航太	当選
JAM	郡山 玲新	当選
JP労組	小沢雅仁	現①当選
日教組	水岡俊一	現③当選
電力総連	浜野喜史	現②当選
情報労連	吉川沙織	現③当選
私鉄総連	森屋 隆現	①惜敗
候補者 10 名	当選 9 名	
惜敗 1 名		